

平成 18 年 1 月 6 日  
日興コーディアル証券株式会社  
インベスコ投信投資顧問株式会社

### 『ウーマノミクス』 に着目した新金融商品について

日興コーディアル証券株式会社（本店所在地：東京都千代田区、取締役社長：有村純一）は、『ウーマノミクス』に着目した新しい株式投資信託を企画し、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：青木一義）及びインベスコ投信投資顧問株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：アレクサンダー M. プラウト）が共同で設計いたしました。

新ファンド『インベスコ 日本株式フォーカス・アルファ・ファンド』（愛称：プラスアングル）は、平成 18 年 1 月 23 日より募集開始いたします。運用会社はインベスコ投信投資顧問株式会社です。

#### 【新ファンド設定・募集の背景】

新ファンドを企画したのは日興コーディアル証券が昨年3月に新設した「エクシーズ(Xshe's)事業室」。今後の企業成長には女性の存在が大きいという点に注目しました。昨年8月に日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社と共同で「女性の価値観」を調査する一方、特に消費と就労における女性の存在感が高まっており、ウーマノミクス効果を重要視する企業は、消費動向の把握や幅広い人材登用等により企業価値が高まり、市場平均を上回るパフォーマンスが生じる傾向があることに着目いたしました。

#### 消費は女性がリードする

消費の決定権は徐々に女性にシフトしつつあります。また、女性の購買力増加による消費全体の底上げが見込め、今後女性消費者を意識した商品開発、サービスは大変重要です。更に団塊世代におけるエンタテインメント消費の調査（博報堂調査）では女性のほうが男性より 1 万 6 千円多いという結果からも、女性の存在は見逃せません。

#### 就労において高まる女性の存在

消費にもっともシビアな女性が、女性の立場で作り手になることは、より効果的な商品開発やマーケティングが可能になると考えています。更に女性の潜在的な労働力は 400 万人程度と推測され、女性労働力の活用はダイバーシティ効果に繋がり、潜在 GDP 成長率を引き上げる効果が期待できると考えています。

## 【『インベスコ 日本株式フォーカス・アルファ・ファンド』(愛称:プラスアングル)】

当初募集期間(当初募集上限1,000億円)は、平成18年1月23日(月)から平成18年2月3日(金)まで、2月6日(月)に設定、運用を開始します。

『インベスコ 日本株式フォーカス・アルファ・ファンド』(愛称:プラスアングル)は、主としてわが国の大型・中型株に投資するファンドで、企業内外のファンダメンタルズの改善などの「変化」を通して成長力の回復が見込まれる企業、あるいはその成長力を維持しつつ割安なバリュエーションを有すると見込まれる企業を選別して投資します。また、女性の消費や就業における経済効果(ウーマノミクス\*効果)等にも着目します。銘柄選定においては、企業収益の成長性と業績の安定性から見て投資魅力の高い銘柄で、人的活用、中でも消費者・労働者としての女性層に着目する企業に付加価値を見出し、厳選投資を行ないます。ウーマノミクス効果を重要視する企業は、消費動向の把握や幅広い人材登用等により企業価値が高まるとの考えのもと、社会・投資家の関心あるテーマに関して、3つの価値基準から企業を評価するウーマノミクス・スコアを参考に投資します。ベンチマークを設定せず、積極的に投資信託財産の成長を目指します。信託期間は10年(平成28年2月5日まで)とします。

\* 「ウーマノミクス」とは、「ウーマン(女性)」+「エコノミクス(経済)」の造語で、女性が消費者および作り手として主導する経済のことをいいます。

運用を担当するのは、インベスコ投信投資顧問株式会社 運用部門 運用部 大型株運用チームです。

運用チームのヘッドを務める長田清英(ながた・きよひで)は、「市場には常に『非効率性』が存在することを前提としたアクティブ運用で、その『非効率性』が修正される局面を的確に捉えることにより安定的なリターンの確保を目指します。また、企業の実体価値に着目し、成長力と割安度を勘案して投資します」とコメントしております。